

from the world

世界の国から

トルコ共和国

Republic of Turkey

首都 アンカラ
面積 約780,576平方キロメートル
(日本の約2倍)
人口 7,770万人(2014年, 国家統計庁推定)
政体 共和制
元首 レジエップ・タイップ・エルドアン大統領
言語 トルコ語
通貨 トルコ・リラ



オヌル・チャラル氏
西黒海開発庁 (BAKKA)
投資サポート室 コーディネーター
Mr. Onur CAGLAR
Coordinator,
Investment Support Unit,
BAKKA



メフメット・チェティンカヤ氏
西黒海開発庁 (BAKKA)
戦略室 室長
Mr. Mehmet CETINKAYA
Head of Strategy Unit,
BAKKA

地方都市へ広がるビジネスチャンス

イスタンブールへの一極集中から地方都市へ

トルコの西黒海地方は、ゾングルダク、カラビュク、バルトゥンの3県で構成されています。国内有数の工業地域であり、域内の人口は約100万人です。首都のアンカラから250km、イスタンブールからは300kmと近い上に、ロシアを含む欧州やCIS市場へのアクセスも良好です。

トルコはその周辺地域を含めた市場が魅力的であり、質の良い労働力を持つことから、有望な投資先として海外から高く評価されています。しかし、トルコ最大の都市であるイスタンブールとその周辺地域では、土地や人件費が高騰し、進出競争が激しくなっています。

このような一極集中を解消し地方経済の活性化を図るため、地域別のインセンティブ制度を設けるなど、政府により様々な政策が行われています。

西黒海開発庁 (BAKKA) は西黒海地方の地域開発を担当する政府機関です。今回は西黒海地方の最新のビジネス環境や投資プロジェクトを紹介するために来日しました。滞在中は「スマートコミュニティ 2015」のUNIDOブースに出展し、日本企業約50社と個別に面談を

行いました。また、東京で開催された西黒海地方を紹介するセミナーで講演したほか、日本企業と個別の面談も行いました。

さらに、昨年10月にBAKKAと経済協力に関する覚書を締結した北九州市を訪れ、市内の環境関連企業やエコタウンの視察を行い、同市でもミニセミナーを開催しました。

トルコ西黒海地方の産業

西黒海地方の主な産業は鉱物、鉄鋼、セメント、ガラス、陶器、機械、化学、農業、林業などです。この地域は、トルコ国内の投資インセンティブ地域の3及び4(1~6で6が最大)に該当し、大都市近郊としては比較的有利な条件を有しています。また、緑が多く地域の約65%が森林であるため、産業ゾーンには環境に優しい技術を持つ廃棄物管理やごみ処理等のエコ産業分野、省エネルギー関連分野の企業に進出してほしいと考えています。

2012年から始まったゾングルダク県の「フィリヨスバレー・プロジェクト」は注目に値します。このプロジェクトは、新しい工業団地とフリーゾーンの建設に、年間貨物容量2500万トンの新しい湾港建設を組み込んだ総合プロジェクトで、現在はライセンス取得手続きの段階です。このプロジェクトにより、現在過密



ゾングルダクの港 (写真提供: 蒸発課)

状態にあるボスポラス海峡の交通量低減を図り、トルコ全体の南北輸送の流れを円滑にすることができます。

フィリヨス港はゾングルダク空港から5キロと近く、国営鉄道や高速道路が乗り入れる予定なので、プロジェクトの完成時にはこの地域は産業・物流の一大拠点へと変貌を遂げるでしょう。製鋼所、造船所、セメント工場などの大規模な民間投資を含む数十億ドル規模のプロジェクトですから、日本企業にとっても様々なビジネスチャンスがあると思います。

環境ビジネスへの参入を期待

現在、日本からトルコへは自動車関連産業をはじめとする約200の企業が進出しています。日本の製品にはブランド力と高い信頼性があります。今回の来日で、グリーンインダストリーやエコタウンコンセプトなどの事例を視察し、環境ビジネスの重要性を再認識しました。所管地域の開発の参考にしたいと考えていますので、先進的な技術を持つ日本企業の皆さんにトルコ西黒海地方の開発に力を貸していただきたいと思っています。



ゾングルダクの製鉄所